

法人本部

法人目標・事業計画の実現に向けて

《運営方針》

令和2年3月に新たな施設として、入間市新光にグループホームほほえみが加わり、法人全体として10施設、17事業を行っています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を振るい、日本国内においても、多数の感染者を出し、未だに収束のめどが立っていません。

このような状況の中、通常の業務に加えて、新型コロナウイルスの感染を施設利用者はもとより、全法人職員への感染防御に万全の対策を講じていくことが、引き続き重要です。

さらに、同感染症蔓延の影響により、各施設・事業の収支の悪化は、避けられないところではありますが、それぞれの職場の英知、努力を結集して、この、国難とも呼べる災厄を乗り切っていく年度とすべきでしょう。

法人本部も出来る限り組織のスリム化を図り、各施設・事業への負担を軽減し、もって財産の健全化を図り、来るべき諸施設の老朽化による修繕等の出費に対応できるよう努めていきます。

また、慢性的な各施設・事業所におけるマンパワーの不足状況の打破については、離職率の低下対策の構築に努め、併せて職員研修の充実を図っていくことが重要です。

加えて、新規職員の採用についても、諸外国からの実習生の受け入れや職員採用に必要な情報の受発信を綿密に実施していきます。

全ての職員にとって、職場が働きやすい環境で、公正な評価を得られる処遇の実現に努力していきます。

引き続き、各事業所・拠点が継続的に安定した運営が図れるように、財務会計事務の充実に努めます。